

No.	遺跡名	ふりがな	所在地	種別	立地	時代	旧石器	草創期	早期	前期	中期	後期	晩期	弥生	古墳(前期)	古墳(中期)	古墳(後期)	奈良時代	平安時代	中世	検出(確認)された遺構等	出土品等	備考	遺跡の性格								発掘調査		
																								貝塚遺跡の有無	貝塚遺跡の時期	生産遺跡の有無	生産遺跡の時期	城館跡遺跡の有無	城館跡遺跡の時期	寺院遺跡の有無	寺院遺跡の時期	発掘調査の有無	参考文献・報告書名	
A	一里塚	いちりづか	下野田字下原	県記念物史跡	台地上	近世																日光御成道沿い、主要街道が整備された慶長4年(1609)以降に造られたものと思われ、日本橋から11番目の塚にあたる。道の両側に塚が残るものとしては県内唯一。ただし東西塚上の木は原生ではなく、西塚のエノキは大正、東塚のムクノキは昭和に植え替えられた。												
1	諏訪八幡神社遺跡	すわはちまんじんじやいせき	柴山字宮野	集落跡	台地上	縄文早(井草Ⅱ・条痕文)、前(諸磯c)、中(加曾利EⅡ)、後(称名寺・堀之内Ⅰ)、古墳前、中～近世			1	1	1	1				1					1	土坑21基(加曾利EⅡ7・近世14)、掘立柱建物跡5棟(近世)、井戸跡2基(近世)	土器(縄文土器・古墳土師器・中世土器(内耳土器)・近世陶磁器(肥前系皿・碗・徳利・瀬戸美濃系皿・灯明皿・鍋)・近世土器(内耳土器・火鉢))、石器(石鏃・打製石斧・磨石・砥石)、石製品(近代石盤・石筆)、土製品(縄文土製円盤・近世土人形・泥面子・ままごと道具・箱庭道具)、鉄製品(近世以降包丁・釘)、銭貨(嘉祐元宝・寛永通宝)	縄文中期主体地点と後期主体地点とがある模様。発掘調査実施の正泉寺では近世～近代廃棄土坑から多量の遺物。石・2参照(発掘調査では中世遺構は未検出)。							有	N・15?	有	文献4, 28, 29, 32
2	宮野遺跡	みやのいせき	柴山字宮野	集落跡	台地上	縄文中(加曾利E)、後(堀之内)、古墳前					1	1				1																文献28		
3	稲荷崎遺跡	いなりざきいせき	柴山字稲荷崎	集落跡	台地上	縄文中(加曾利E)、古墳前					1					1																文献28		
4	柏崎遺跡	かしわざきいせき	柴山字柏崎	集落跡	台地上	縄文前(花積)、後(堀之内)				1		1																				文献28		
5	しま岡遺跡	しまおかいせき	荒井新田字しま岡	集落跡	台地上	縄文前(浮島)、後(堀之内)				1	1												遺跡名「しま」は山篇に毒。									文献28		
6	上荒井ヶ崎西遺跡	うえあらいがざきにしいせき	荒井新田字上荒井ヶ崎	集落跡	台地上	縄文早(条痕文)、中(加曾利E)、後(堀之内)			1		1	1																				文献28		
7	上荒井ヶ崎遺跡	うえあらいがざきいせき	荒井新田字上荒井ヶ崎	集落跡	台地上	縄文早(条痕文)、中(加曾利E)				1		1																				文献28		
8	下荒井ヶ崎遺跡	しもあらいがざきいせき	荒井新田字下荒井ヶ崎	集落跡	台地上	縄文早(条痕文)、中、後(堀之内)、古墳前、中世				1		1	1			1					1											文献28		
9	皿沼遺跡	さらぬまいせき	下大崎字屋敷前	集落跡	台地上	縄文中(加曾利EⅠ～Ⅳ)、後(称名寺・堀之内Ⅰ・Ⅱ、加曾利BⅠ・Ⅱ)、古墳前						1	1			1					住居跡14軒(加曾利EⅠ3・加曾利EⅡ2・加曾利EⅢ3・称名寺2・堀之内Ⅰ1・加曾利BⅡ1・古墳前2)、土坑35基(縄文中～後)、埋甕2基(加曾利EⅢ)	土器(縄文土器・古墳土師器(壺・埴・甕・高坏・器台))、石器(石鏃・打製石斧・磨製石斧・石鏃・石匙・石鏃・砥石・磨石・磨石・石皿・凹石)、石製品(縄文滑石製模造品)、土製品(土甕・蓋・スタンピング土玉)	包含層から縄文中～後期の土偶1点出土(報告書未掲載)。古墳前住居跡1は火災住居。未報告有。								有	文献5, 26, 28		
10	屋敷回遺跡	やしきまわいせき	下大崎字屋敷回	集落跡	台地上	古墳前										1																文献28		
11	天神山西遺跡	てんじんやまにしいせき	下大崎字屋敷回	集落跡	台地上	古墳前										1																文献28		
12	天神山遺跡	てんじんやまいせき	下大崎字屋敷回	集落跡	台地上	縄文早(条痕文)、古墳前、奈良、平安				1						1			1	1												文献28		
13	天神山東遺跡	てんじんやまひがしいせき	下大崎字屋敷回	集落跡	台地上	縄文早(条痕文)、前(花積)、中(加曾利E)				1	1	1																				文献28		
14	タタラ山遺跡	たたらやまいせき	白岡字山	集落跡	台地上	旧石器、縄文草創・早(燃糸文・子母口・野島)、前(花積・関山～十三善掇)、中(勝坂・阿玉台～加曾利EⅢ・Ⅳ)、後(称名寺～安行Ⅱ)、晩(安行Ⅲb)、古墳前、平安(10c)	1		1	1	1	1	1			1				1	1	住居跡79軒(条痕文3・花積63・加曾利EⅢ3・古墳前7・平安3)、堅穴状遺構2基(花積1・加曾利EⅣ1)、掘立柱建物跡2棟(近世)、炉穴57基(条痕文～花積)、土坑333基(条痕文～諸磯b・近世)、溝跡16条(近世～近代)、地下室5基(近世)	旧石器(ナイフ形石器)、土器(縄文土器・古墳土師器(甕)・土師器・須恵器(坏・壺)・近世陶器(瀬戸美濃系天目碗・皿))、石器(尖頭器・石鏃・搔器・削器・石匙・打製石斧・磨製石斧・磨石・砥石・石皿・凹石・礫器)、石製品(鉄状耳飾・垂飾)、土製品(円盤・有孔磨製石斧・三角埴形土製品)	縄文早期条痕文期から前期花積下層期にかけての拠点集落。第2地点では花積期の良好な住居跡一括遺物多数。尖頭器は前期段階のものか。加曾利EⅢ～EⅣ期の遺構・遺物も多く、北側のNo.15山遺跡との関連か。							有	文献6, 7, 8, 26, 28, 31, 36, 39, 53, 54		
15	山遺跡	やまいせき	白岡字山	集落跡 窯跡(古代・炭焼窯)	台地上	旧石器、縄文早(子母口～鶴ヶ島台)・前(花積～十三善掇)・中(阿玉台～加曾利EⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ)・後(称名寺・堀之内)、奈良、平安、中世、近世	1		1	1	1	1							1	1	1	住居跡約37軒(条痕文Ⅰ・阿玉台1・加曾利EⅡ1・EⅢ約30・後期初頭Ⅰ)、炉穴多数(条痕文)、土坑(縄文・近世)、掘立柱建物跡5棟(中～近世)、溝跡(近世)、館跡1(中世)、木炭窯跡2基(古代)、瓦窯跡1基(近代)	旧石器(ナイフ形石器)、土器(縄文土器・中世陶器(瀬戸美濃系皿)・近世陶磁器(播鉢・灯明皿・碗・皿・徳利)・土器(かわらけ・火鉢))、石器(石鏃・搔器・打製石斧・磨石・砥石・磨石・凹石・浮き・砥石)、銭貨(鉄銭・判別不能)	総じて縄文早期後半・中期末葉の拠点集落。第1～3地点は縄文中中期加曾利EⅢ式期主体。第4～7地点は条痕文期(子母口～鶴ヶ島台)、加曾利EⅡ～後期初頭主体。第5地点では区画溝・中世陶器検出。第6地点の縄文後期初頭の住居跡は加曾利E系土器主体で、多量の炭化材・埴土が堆積し、床面壁際に土器片列が巡る特異なもの。第3地点では木炭窯跡を検出、1基は分析により、その時代は不明。	有	K・L	有	0・16?	有	文献9, 10, 28, 37, 41, 55, 56, 57				
16	新屋敷遺跡	あらやしきいせき	白岡字茶屋	集落跡	台地上	縄文早(条痕文)、前(浮島)、中(加曾利E)、後(堀之内Ⅱ)、平安			1	1	1	1							1	1	住居跡1軒(平安)、土坑6基(中世～近世)、井戸跡1基(不明)溝跡10条(近世)	土器(縄文土器・陶磁器)、石器、石製品、銭貨	中近世の陣屋跡(館跡)との伝承あり。					有?	有	文献3, 28, 34				
17	茶屋遺跡	ちややいせき	白岡字茶屋	集落跡、貝塚、城館跡	台地上	縄文早(燃糸文・条痕文)、前(諸磯b・浮島)、古墳前				1	1		1			1				1	住居跡3軒(浮島1・古墳前2)、土坑6基(条痕文)、土坑18基(諸磯b・浮島)、溝跡2条(古墳前1・不明1)、井戸跡1基(中世～近世)	土器(縄文土器・古墳土師器(台付甕))、石器(石鏃・打製石斧・砥石)、土製品(鉄状耳飾・土玉)	第1地点住居跡1は諸磯b式と浮島式が共存出土。第2地点で土製鉄状耳飾出土。第6地点ではS字状口縁台付甕が出土。							有	文献11, 12, 26, 28, 35			
18	入耕地遺跡	いりごうちいせき	白岡字茶屋	集落跡、館跡 石造物、環状盛土	台地上	旧石器・縄文早(条痕文)、後(堀之内Ⅰ・Ⅱ、加曾利B、安行Ⅰ・Ⅱ)、晩(安行Ⅲa～Ⅲd)、古墳前、中世、近世	1		1	1	1	1	1			1				1	住居跡約16軒(堀之内Ⅰ・加曾利B～安行Ⅲa・古墳前)、掘立柱建物跡28棟(中世)、堅穴状遺構4基、土坑1,024基(称名寺～加曾利B・中世・近世:魚骨廃棄土坑有)、溝跡77条(中世・近世)、炉穴10基(条痕文)、井戸跡22基、地下式坑14基(中世・近世)、ピット群(中世、近世)	旧石器(ナイフ形石器)、土器(縄文土器・古墳土師器(台付甕・壺・碗・埴・器台)・中世陶磁器(白磁・青磁・常滑系甕・瀬戸美濃系皿)、中世土器(播鉢・かわらけ))、石器(石鏃・打製石斧・磨製石斧・磨石・凹石・石皿)・土製品(イノシシ形土製品・亀形土製品・土偶、土玉)、石製品(石棒・石剣・垂飾)、中世～近世鉄製品(鉄鏃・毛抜き)、鉄滓、中世ガラス製品(切子玉)、板碑(中世)、銭貨(永楽通宝)、魚骨(イルカ・カジキマダロ・マダロ・カツオ)	第1～3地点は縄文後～晩期主体の集落、また中世館跡も確認。白岡八幡宮と正福院との中間に位置することから野与党鬼屋氏関連の館跡か。土坑出土のカジキマダロ・イルカ等魚骨は切創痕あり(切断の土撥りか)。第4地点は縄文後晩期の包含層・中世墓坑。第5地点は中世末～近世の溝、土坑群。井戸にイシガイイ投棄。第6・8・10地点でも複数の溝を確認。第5・6・8地点は「入耕地館跡」の外郭部か。石・9参照。第7地点は縄文後晩期。					有	N・14 ～0・16	有	文献4, 13, 25, 28, 29, 33, 40, 42, 50, 51			

[illegible]

No	遺跡名	ふりがな	所在地	種別	立地	時代	旧石器	草創期	早期										弥生	古墳(前期)	古墳(中期)	古墳(後期)	奈良時代	平安時代	中世	検出(確認)された遺構等	出土品等	備考	遺跡の性格								発掘調査	
									早期	前期	中期	後期	晩期	貝塚遺跡の有無	貝塚遺跡の時期	生産遺跡の有無	生産遺跡の時期	城館跡遺跡の有無											城館跡遺跡の時期	寺院遺跡の有無	寺院遺跡の時期	発掘調査の有無	参考文献・報告書名					
86	海老島遺跡	えびじまいせき	太田新井字海老島	集落跡	台地上	縄文早(沈瀬文・条痕文)、前(浮島)、中(加曽利E)、後(称名寺・堀之内I)、平安				1	1	1	1							1		住居跡1軒(平安)、炉穴3基(条痕文)、遺物包含層(条痕文)	土器(縄文土器・土師器)、石器	埼玉県埋蔵文化財調査事業団調査。											有	文献24		
城-1	陣屋(白岡氏館)	じんや(しらおかしやかた)	白岡字新田	陣屋もしくは館	台地上	平安末～?															1			時期不明。鬼窪氏関連の陣屋(館跡)か。											文献3, 26			
城-2	丸山城	まるやまじょう	岡泉字丸山		台地上																1			時期不明。											文献3			
城-3	太田陣屋	おおたじんや	太田新井字土橋山		台地上	戦国															1	堀		箱葉研堀の堀を検出するも時期不明。						有			有	文献3				
石-1	柴山・福田好行家	しばやま・ふくだよしゆきけ	柴山字宮野		台地上	室町(南北朝)																	板碑1(「永徳三年癸亥十月廿六日」)											文献29				
石-2	柴山・石井壽美家	しばやま・いしいすいけ	柴山字宮野		台地上																		板碑1(破片)	遺跡No.1内。														
石-3	柴山・田口雅之家	しばやま・たぐちまさゆきけ	柴山字稲荷崎		台地上	戦国																	板碑1(「文明十二年五月」)											文献29				
石-4	柴山・佐々木弘光家	しばやま・ささきひろみつけ	柴山字稲荷崎		台地上																		板碑1(破片)											文献29				
石-5	篠津・矢島信子家	しのづ・やじまのぶこけ	篠津字志部		台地上																		板碑1(破片)											文献29				
石-6	篠津・菱沼敏家	しのづ・ひしぬまとしけ	篠津字志部		台地上																		板碑1(破片)											文献29				
石-7	篠津弁財天	しのづ・へんさいてん	篠津字向沖合		自然堤防上	南北朝																	板碑1(「暦(応)」)											文献29				
石-8	篠津久伊豆神社	しのづひさいずじんじや																					板碑1(破片)	遺跡No.22内。														
石-9	興善寺	こうぜんじ	白岡字東		台地上	南北朝																	宝篋印塔5(「寛永二十一年」)、基礎4(「建武(五年)」、「延文二年十月二十九日」、「延文二年□月十六日」、「天文二年六月八日」)、五輪塔1(地輪「永享七年二月十七日」)、板碑22(「暦応二	遺跡No.21内。紀年銘のない板碑片1はH=133cmと市内最大。市指定文化財。														
石-10	正福院	しょうふくいん	白岡字茶屋		台地上	南北朝～室町																	宝篋印塔2(「正長三年二月五日」、「寛永二十一年」)、板碑44(「至徳元年十月廿九日」、「応永十五戊子年九月日」、「暦(応)」破片41)	遺跡No.19内。														
石-11	白岡・井上立輔家	しらおか・いのうえりゅうすけけ	白岡字茶屋		台地上	室町～戦国																	板碑4(「応永卅三年九月十」、「明応二二(四)年三月十日」、破片2)	遺跡No.18内。														
石-12	白岡・角田喜好家	しらおか・かくたきよしけ	白岡字茶屋		台地上																		板碑1(破片)	遺跡No.18内。														
石-13	小久喜・鬼久保清家	こぐき・おにくぼきよしけ	小久喜字中村		台地上	南北朝																	板碑2(「貞治七年二月十六日」、破片1)	遺跡No.86内。														
石-14	寿楽院	じゅらくいん	小久喜字西山		台地上																		板碑1(破片)	遺跡No.86内。														
石-15	野牛・濱田寅男家	やぎゅう・はまだとらおけ	野牛字内舞台	自然堤防上	室町																		板碑2(「文明」、破片1)											文献29				
石-16	忠恩寺	ちゅうおんじ	高岩字寺下		台地上																		宝篋印塔2(「寛永二十年」、「寛永二十一年」)、板碑1(破板碑2(「康永元」、破片1)	遺跡No.61内。											文献29			
石-17	高岩・斎藤宗一家	たかいわ・さいとうそういちけ	高岩字下駒形		台地上	室町(南北朝)																	板碑1(破片)											文献29				
石-18	寺塚・地藏堂	てらづか・じざうどう	寺塚字下道		自然堤防上																		板碑1(破片)											文献29				
石-19	大徳寺	だいとくじ	上野田字赤砂利		台地上	鎌倉																	板碑13(「正和二年」、「元亨三年八月日」、「応仁二年正月三日」、「応仁(二)□月十」、「永正」)、破片8)	遺跡No.56内。														
石-20	下野田・折原幸雄家	しものだ・おりはらゆきおけ	下野田字本村		台地上	戦国																	板碑1(「享祿五壬辰二月十五日」)	市内最新であり唯一の逆修供養。											文献29			
石-21	下野田・吉田光一家	しものだ・よしだこういちけ	下野田字本村		台地上	室町																	板碑6(「延慶三年十月 日」、「文安二年二月十五日」、破片											文献4, 29				
石-22	下野田・吉沢寛一郎家	しものだ・よしざわかんいちろうけ	下野田字下原		台地上	室町(南北朝)																	板碑1(「貞治七年十二月 日」)	貞治七年は応安元年。											文献29			
石-23	下野田・山口義雄家	しものだ・やまぐちよしおけ	下野田字新田前		台地上	室町																	板碑2(「文明」、破片1)											文献29				
石-24	夷ヶ谷・内田仁家	さながや・うちだひとしけ	夷ヶ谷字寺裏		台地上	鎌倉																	板碑1(「正応二年 月日」)	基部に孔。市指定文化財。											文献4, 29			
石-25	岡泉観音堂	おかいずみかんのんどう	岡泉字神台		台地上																		板碑1(破片)											文献29				
石-26	安楽寺	あんらくじ	太田新井字中		台地上	南北朝～戦国																	宝篋印塔1(「寛永十年」)、板碑5(「貞和三年四月」、「文和三年八月 □」、「文安二年」、「文明 七月」破片1)															
石-27	岡泉・丸山共同墓地	おかいずみ・まるやまきょうどうぼち	岡泉字丸山		台地上	鎌倉～?																	板碑7(「弘(安)九」、「嘉祿二」、「応永八年」、破片4)	弘安銘は市内最古。											文献4, 29			
石-28	太田新井・川崎昇家	おおたあらい・かわさきのぼけ	太田新井字原		台地上	南北朝、室町																	板碑2(「明徳二年三月」、「貞治二年」)															
石-29	太田新井・川崎一也家	おおたあらい・かわさきかずやけ	太田新井字土橋山		台地上	南北朝																	板碑1(「永徳三年二月 日」)											文献29				
石-30	太田新井・鷺谷昭二家	おおたあらい・さぎやしょうじけ	太田新井字土橋山		台地上	室町																	板碑1(「永享七年五月八日」)	H=37cmで市内最小。											文献29			
石-31	太田新井・山崎浩治家	おおたあらい・やまさきこうじけ	太田新井字堂ヶ島		台地上	鎌倉																	板碑3(「嘉元二年八月 日」、「至徳三年 月 日」、破片1)	遺跡No.84内。														
石-32	旧大山民俗資料館	きゅうおおやまみんぞくしりょうかん	荒井新田字しま岡																				板碑2(「正応八年八月日」、破片1)	所在地不明板碑のみ記載。市内所在のもの10点を含め計12点を展示。														
石-33	観福寺	かんぶくじ	野牛字内舞台																				宝篋印塔2(「慶長十五年九月十一日」、「慶長二十年八月二十一日」)											文献29				
石-34	篠津阿弥陀堂	しのづあみだどう	篠津字志部																				宝篋印塔1(「寛永十四年」)											文献29				
石-35	爪田ヶ谷観音堂	つめたがやかんのんどう	爪田ヶ谷字原																				宝篋印塔2(「寛永十六年」2、「寛永十七年」)															
	合計						10	2	22	26	59	43	10	0	16	1	2	13	21	31																		

注1：Noは以下のように使い分けた。
 周知の埋蔵文化財包蔵地…算用数字のみの表記 中世石造物(板碑・五輪塔等)の所在地…石-算用数字で表記 城館跡所在地…城-算用数字で表記 包蔵地の可能性がある場所…アルファベットで表記
 注2：「遺跡の性格」の時期については、以下のとおりアルファベットで略記し、平安時代以降で詳細な時期がわかる場合については、算用数字で世紀まで記入した。
 縄文時代早期…A 前期…B 中期…C 後期…D 晩期…E 弥生時代中期…F 後期…G 古墳時代前期…H 中期…I 後期…J 奈良時代…K 平安時代…L 鎌倉時代…M 室町時代…N 戦国時代…O